

## 2-5 東北地方の地殻変動

### Crustal Movements in the Tohoku District

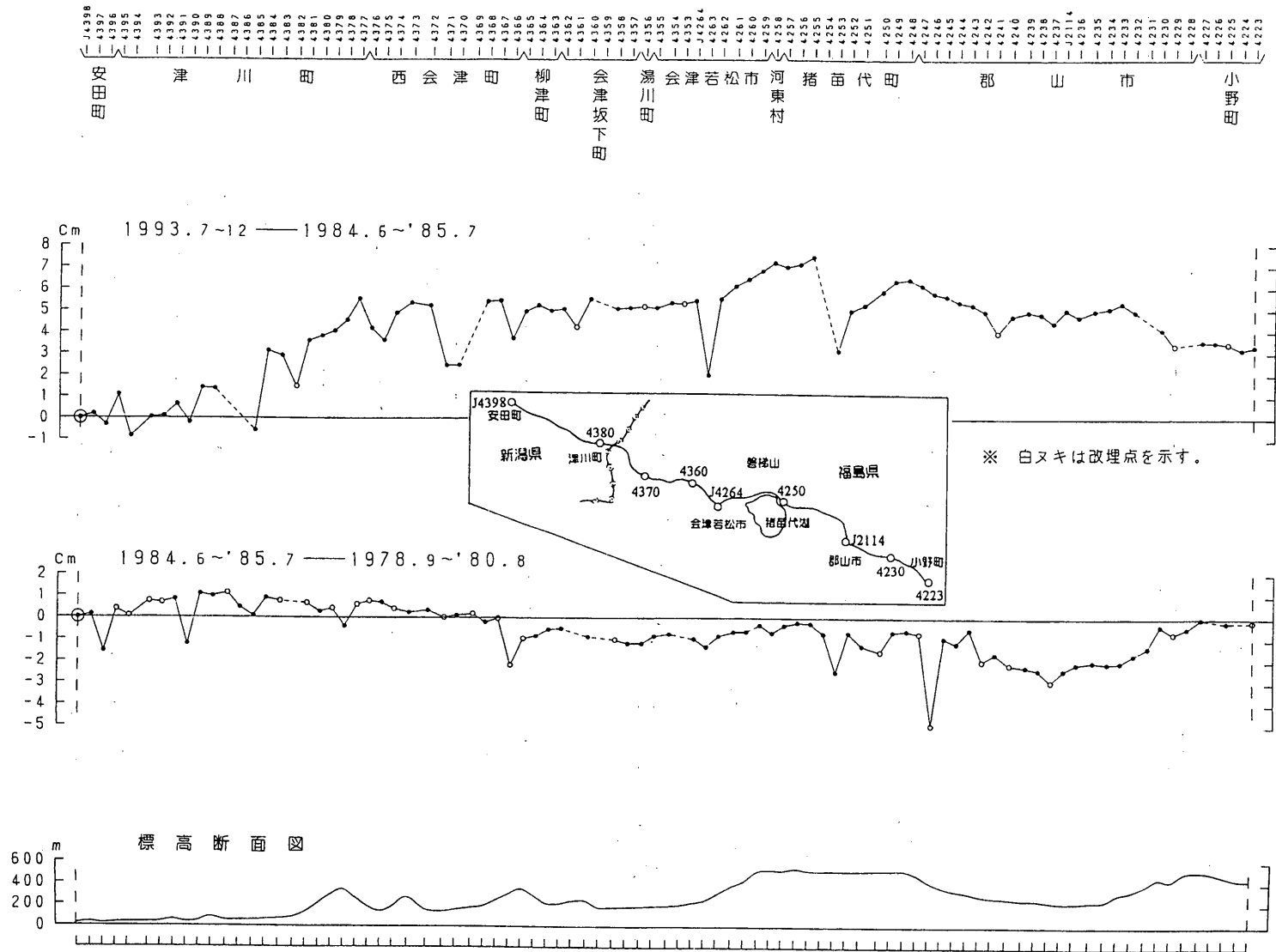
国土地理院  
Geographical Survey Institute

第1図は、安田～会津若松～小野間の上下変動である。最近9年間、会津若松を中心に7cmを越える隆起が見られる。小野から見ても、会津若松は4cm程度隆起となるので、今後の地殻活動を見守りたい。

第2図は、日本海沿岸の各験潮場間の月平均潮位差である。近年深浦は沈降傾向にあるが、男鹿は大きな変動はなく、この2験潮場間の変動に差が認められるようになったことが注目される。第3図は、三陸地方の各験潮場間の月平均潮位差である。第4図は、東北地方南部太平洋岸の各験潮場の月平均潮位差である。

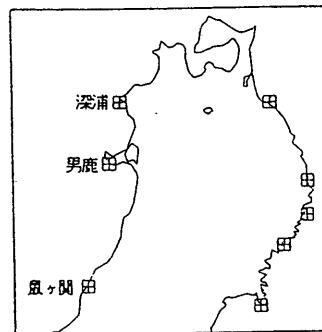
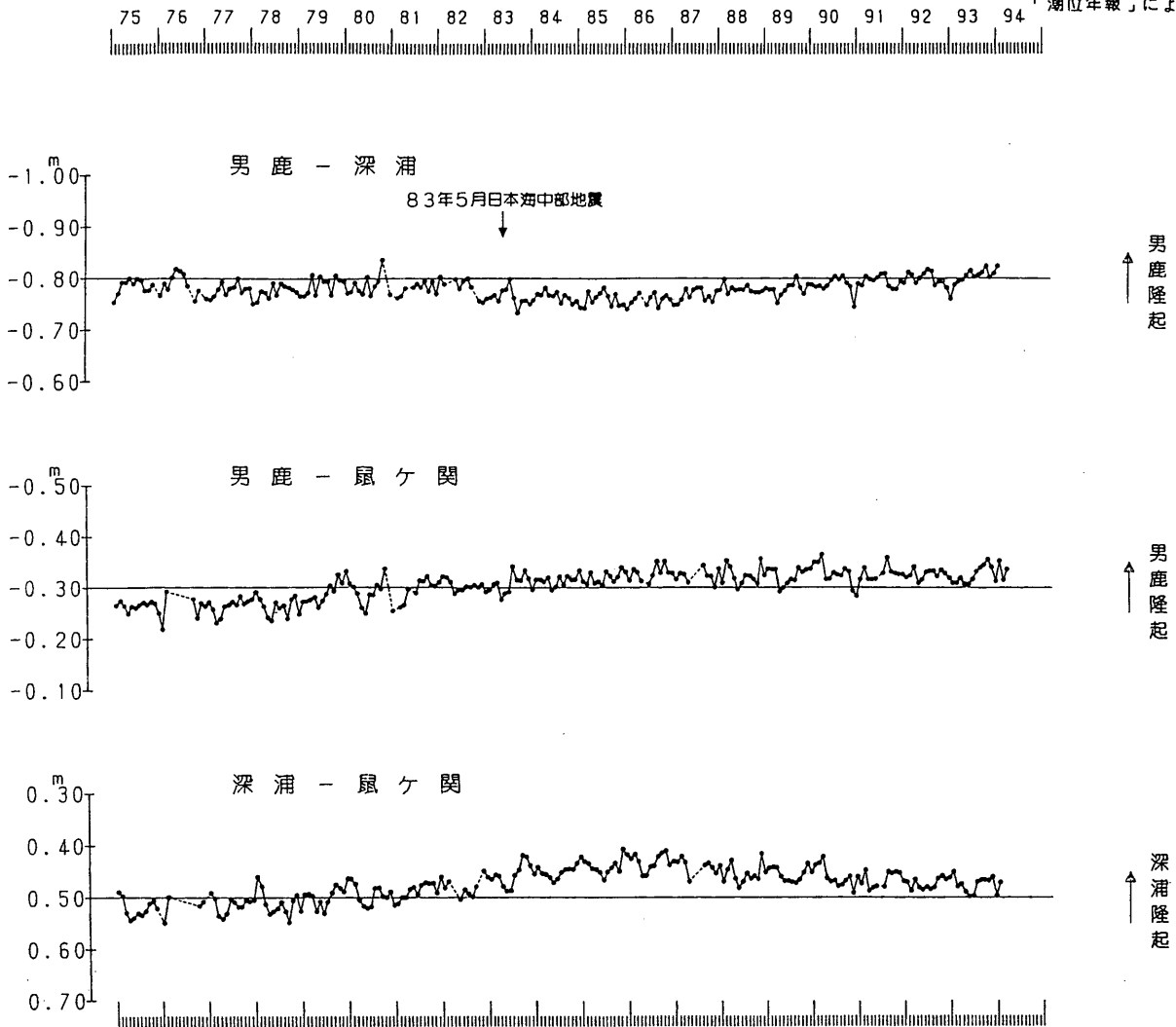
#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：中部・北陸地方の地殻変動，連絡会報，**33** (1985)，400-414.
- 2) 国土地理院：北関東地方の地殻変動，連絡会報，**34** (1985)，127-137.
- 3) 国土地理院：東北地方の上下変動，連絡会報，**35** (1986)，41-64.
- 4) 国土地理院：東北地方の地殻変動，連絡会報，**48** (1992)，68-72.
- 5) 国土地理院：東北地方の地殻変動，連絡会報，**49** (1993)，67-76.
- 6) 国土地理院：東北地方の地殻変動，連絡会報，**50** (1993)，71-76.



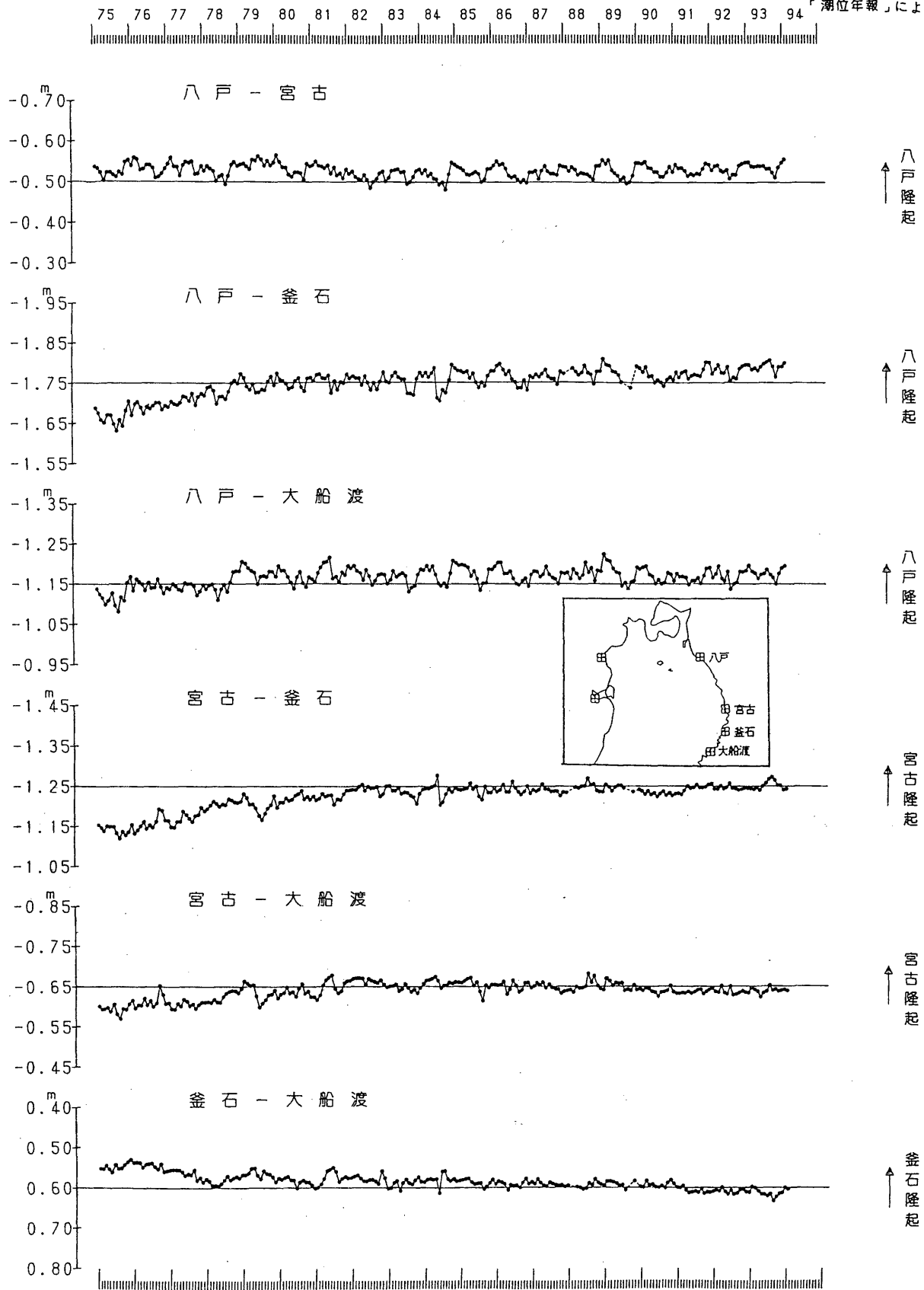
第1図 安田～会津若松～小野間の上下変動

Fig.1 Vertical movements along the route from Yasuda to Ono via Aizu-Wakamatsu.



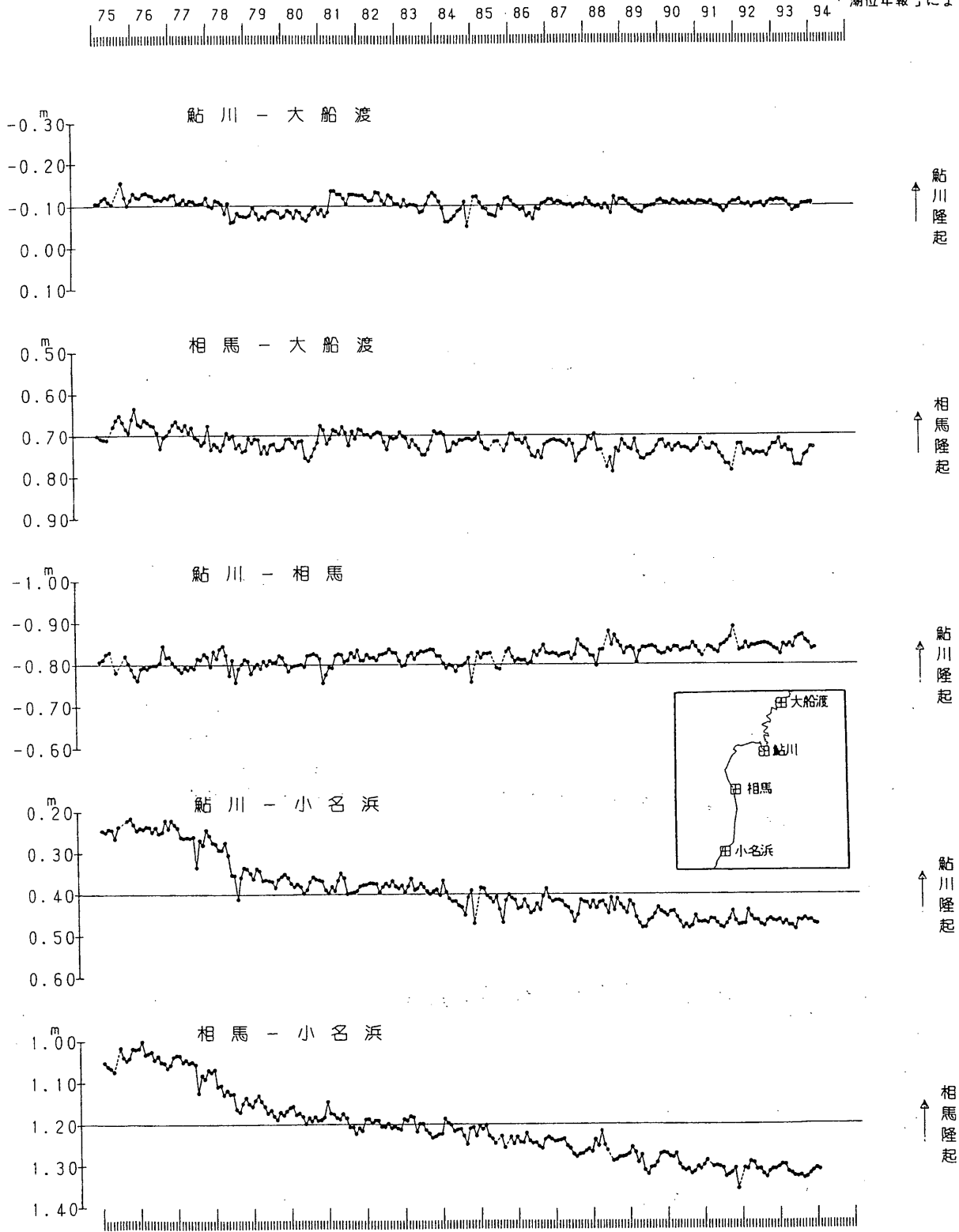
第2図 東北地方日本海沿岸各験潮場間の月平均潮位差

Fig.2 Differences in monthly mean sea levels between tide stations on the Japan Sea coast of the Tohoku district.



第3図 三陸地方各験潮場間の月平均潮位差

Fig.3 Differences in monthly mean sea levels between tide stations in the Sanriku district.



第4図 東北地方南部太平洋沿岸の各験潮場間の月平均潮位差

Fig.4 Differences in monthly mean sea levels between tide stations on the Pacific coast of southern Tohoku district.